

## 扉の建てつけ調整方法

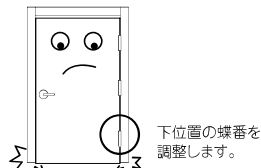
扉を開閉して、扉が当たる場合は、下記手順で蝶番を調整してください。

- 蝶番の調整には、必ず手動のプラスドライバーを使用してください。電動ドライバーを使用すると金具破損の原因となります。
- 調整ねじは一気に回さず「微調整→ドアを開閉して確認」を繰り返して行ってください。

### 上下調整の方法

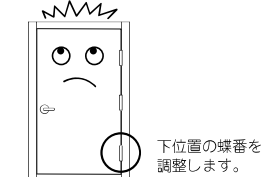
(上下調整範囲±2.5mm)

- ドアの下部が床にこするとき



下位置の蝶番を調整します。

- ドアの上部が上枠にこするとき



下位置の蝶番を調整します。

- ①扉下側の枠側プレートのキャップを外します。
- ②プラスドライバーで調整します。  
上方向……………時計方向に回して下さい。

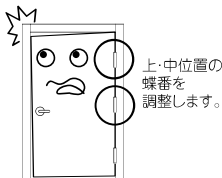
- ③調整が終わったら上側の蝶番の軸受けを手で下げます。
- ④外したキャップを取り付けます。

- ①扉下側の枠側プレートのキャップを外します。
- ②プラスドライバーで調整します。  
上方向……………時計方向に回して下さい。

(調整可能範囲±2.0mm)

### 左右調整の方法

- ドアの上部が当たるとき



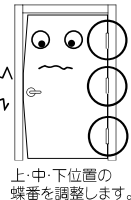
上・中位置の蝶番を調整します。

- ドアの下部が当たるとき



中・下位置の蝶番を調整します。

- ドアの中央部が当たるとき

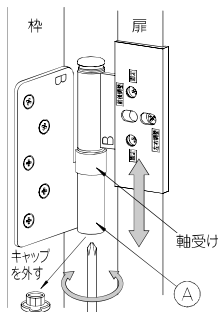


上・中・下位置の蝶番を調整します。

### 注意

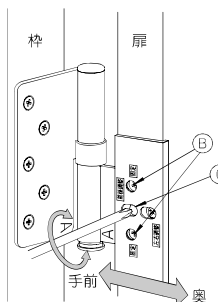
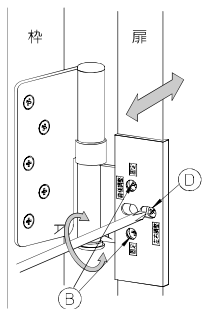
吊り元方向へ寄せる場合、調整範囲を超えて調整すると、扉と枠がぶつかりドアが閉まらないことがあります。以下の現象が見られる場合は、蝶番の破損や扉の脱落につながるおそれがありますので、適正な調整範囲に調整してください。

- ・扉側蝶番カバーが膨らんでいる。
- ・ドアをラッチ受けから外すと自然に前に飛び出てくる。



### 注意

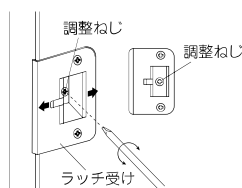
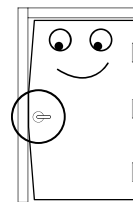
固定ビスは確実に締めつけてください。締めつけがゆるいと使用中に固定ビスがゆるみ、蝶番が破損したり扉が脱落するおそれがあります。



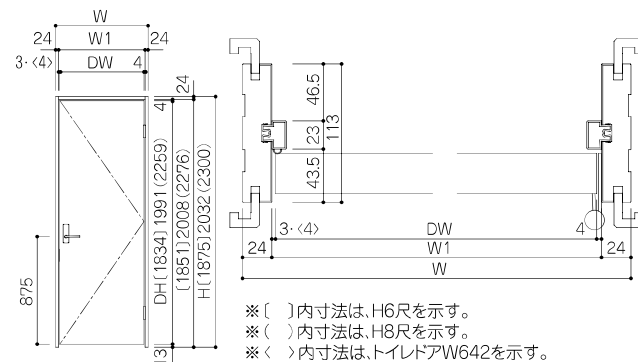
## ラッチ受け調整の方法 (調整可能範囲±2.3mm)

- ラッチがラッチ受けに入らないとき
- ドアがガタつくとき

手動のプラスドライバーでラッチ受けの前後調整をします。

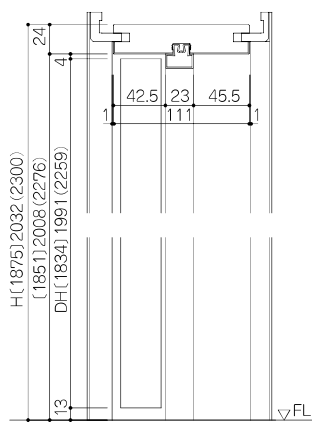


## 納まり図

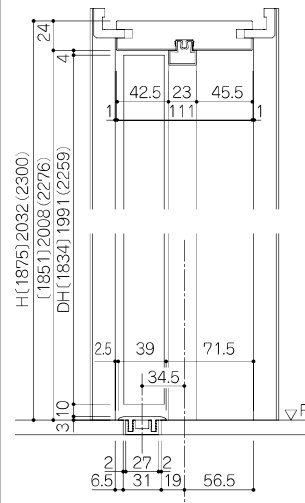


タイプ	W	W1	DW
バリアフリードア	872	824	817
メーターモジュールドア	850	802	795
一般ドア	780	732	725
	755	707	700
	735	687	680
トイレドア	642	594	586
親子ドア	1190	1142	725-407

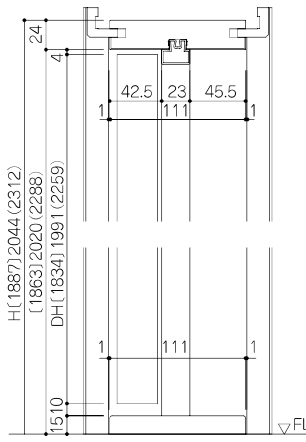
- 沓摺を使用しない場合



- 樹脂製床見切りを使用する場合



- フラット沓摺を使用する場合

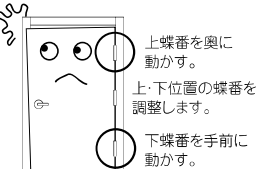


※蝶番は、2枚・3枚仕様があります。上記は3枚仕様での調整方法です。2枚の場合は中位置の蝶番はありません。

### 前後調整の方法

(調整可能範囲±2.0mm)

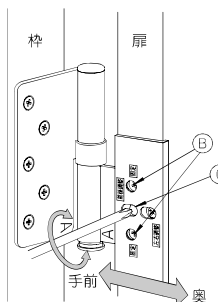
- ドアの下部は戸当りに当たっているが、上部が当たっていないとき



上蝶番を奥に動かす。  
上・下位置の蝶番を調整します。  
下蝶番を手前に動かす。

- ①蝶番の固定ネジBを緩め、前後調整ネジCにて調整し、Bの固定ネジを締め付けます。

- ②調整が終わったら上側の蝶番の軸受けを手で下げます。
- ③調整が終わったら上側の蝶番の軸受けを手で下げます。



## 取扱説明書（お施主様保管用）

※お施主様に必ずお渡しください。

このたびは「内装ドア」をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

■ご使用前にこの説明書をお読みいただき、正しくお使いください。

特に「安全上のご注意」は、ご使用前に必ずお読みいただき安全にお使いください。

■お読みになったあとは、大切に保管してください。

## 安全上のご注意

ケガや事故防止のため、以下のことを必ずお守りください。

人身事故や財産の損害を未然に防止するために、製品の取扱いについて次のように警告表示をしています。誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次のレベルで説明しています。

表示方法	内 容		
△ 注意	この表示を無視して誤った取扱いを行なうと、使用者などが傷害（※1）を負うことが想定されるか、物的損害（※2）の発生が想定される危害・損害の程度を示す。	⊘	「してはいけない」を示します。
		⚠	「必ず行っていただくこと」を示します。

（※1）傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、ケガ、やけど、感電などをさす。

（※2）物的損害とは、家屋、家財および家畜、ペットなどに関わる拡大損害をさす。

## △ 注意

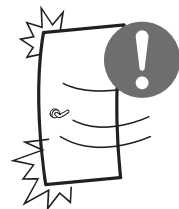
- 扉の開閉にあたっては、扉と枠とのすき間に手を入れないでください。

指をはさんで、ケガをするおそれがあります。特に小さなお子様には十分ご注意ください。



- 扉を開け放した状態にする時は、ドアストッパーなどをお使いください。

強い風などで、扉が勢いよく閉まることもあり、ぶつかったり、ガラス割れなどで、ケガをするおそれがあります。



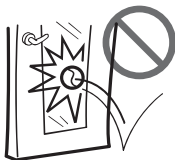
- 扉のレバーハンドルにぶらさがったり、扉にもたれたりしないでください。

扉が破損したり、脱落して、ケガをするおそれがあります。



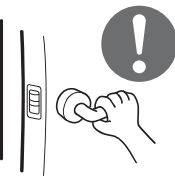
- ガラスに強い衝撃を与えたり、物をぶつけたりしないでください。

ガラスが割れて、ケガをするおそれがあります。特に小さなお子様にはご注意ください。



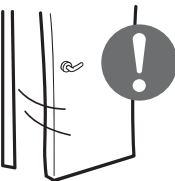
- 扉の開閉にあたっては、必ずレバーハンドルを持って操作してください。

レバーハンドルから手を離したり、ドアの先端に手を置くと、扉が急に閉まった時に扉と枠の間に手をはさみ、ケガをするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。



- 扉の開閉は、静かに行ってください。

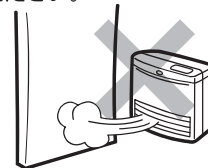
乱暴に扱うと扉が破損したり、脱落して、ケガをするおそれがあります。



## ご使用上のお願い

- 暖房器具などから発生する熱風、熱気が直接当たらないようにしてください。

扉に反りや、変形、変色が発生して故障の原因となります。



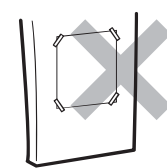
- 本体に水、油、殺虫剤などが付着しないようにしてください。

表面がふくれたり、しみ、変色などが発生するおそれがあります。



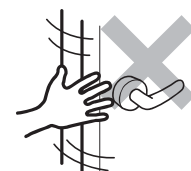
- 扉に粘着テープや両面テープでポスターなどを貼らないでください。

テープをはがす時に、表面が傷ついたり、シートはがれが発生するおそれがあります。



- 扉の開閉はレバーハンドルを持って行ってください。

扉に直接手を置いて開閉を繰り返しますと、シートのはがれ、よこれ、変色の原因となります。



- 木材建具の反りについて

木質を原料とする木質材料（合板、パーティクルボード、MDFなど）を加工して作られた木質建具は、空気中の水分を吸収したり放出したりすることにより、伸縮する特性を有しています。この空気中の水分の吸収・放出は、木質建具の周辺の温度や湿度などの環境条件の変化に応じて発生するものであり、自然現象といえます。特に木製建具の室内面と室外面側の環境条件が大きく異なる場合、「反り」という現象が発生することがあります。

- 『反り』の発生の抑えかた

ご使用の環境や設置場所によって『反り』の発生をできるだけ抑える方法として、次のことにご注意ください。

1. エアコン、暖房などをご使用の際は、木製建具に直接熱風、熱気が当たらないようにしてください。
2. 夏場の冷房、梅雨時の除湿、冬場の暖房などにより、室内と室外の環境条件の差を極端に大きくしないでください。
3. 木製建具に直接日光が当たる場合は、窓辺にカーテン、すだれなどを設けて日光を遮ってください。

発生した『反り』は室内側と室外側の環境条件を近づけることによって、小さくなる場合があります。

## お手入れのしかた

- 日頃のお手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。

- 汚れがひどい場合は、柔らかい布を水で薄めた中性洗剤に浸し、かたく絞ってから拭いてください。その後、乾いた布で拭き取ります。  
※シンナー、ベンジン、アルコール、ワックス、化学雑巾は使用しないでください。変色、変質するおそれがあります。



- ご使用中に異常を感じたり、不具合が生じたときには本説明書をご参考の上、取り付け部分などをご確認ください。ご自身で対処できない場合には施工業者にご連絡、ご相談ください。

## 住友林業クレスト株式会社

名古屋市中区錦3丁目10-33 錦SISビル3F 〒460-8428  
お客様相談室 TEL <052> 205-8405 FAX <052> 205-8400